

奈良県スポーツ人材育成勉強会

【趣旨】

健康寿命日本一の奈良県の実現に向けて、2031年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会を契機とした競技力強化、指導者育成・確保のほか、部活動の地域移行、運動・スポーツの習慣化の推進など、スポーツをする・観る・支える人材の育成・確保が必要。求められる人材の育成に向けて、主に3つのテーマについて方策を検討。

- 1.国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた競技力強化
- 2.幼児向け運動・スポーツプログラム
- 3.無関心層の運動開始(子育て世代の運動参加)プログラム

【勉強会メンバー】*敬称略

氏名	所属・役職
小川 宗宏	奈良県立医科大学整形外科 医師((公財)奈良県スポーツ協会 医科学専門委員)
加藤 真治	株式会社バンビシャス奈良 代表取締役
紙森 隆弘	大和高田市立高田商業高等学校 教諭(同校ソフトテニス部 顧問)
川崎 香織	奈良県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 副会長
木村 慎太郎	株式会社アシックス 社員(元 陸上男子100m世界選手権日本代表)
角田 道代	学校法人奈良学園 奈良文化幼稚園 園長
橋本 和典	奈良県障害者スポーツ指導者協議会 会長
山本 直輝	奈良県市町村社会体育事務担当者連絡協議会 会長(大和郡山市スポーツ推進課 係長)
和田 俊廣	公益財団法人奈良県スポーツ協会 事務局次長

【県関係課・室】

スポーツ振興課、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会準備室、奈良っ子はぐくみ課、障害福祉課、特別支援教育推進室、健康・安全教育課

【実施状況】

令和4年11月30日 第1回奈良県スポーツ人材育成勉強会

*勉強会の趣旨概要説明、3つのテーマについて意見交換

＜主な意見＞

(競技力)指導者を増やそうにも、県内では指導者の就職先、採用人数が少なく難しい。

発掘育成にあたり、成長に応じて他競技への転向も視野に入れ、可能性を狭めないことが必要。

(幼児運動)全員に同じことをやらせるのは難しい。子どもに選択肢がある形にする方が良い。

指導者により子どもの興味の持ち方が全く異なる。子どもに楽しさを伝えられる指導者が一番必要。

(無関心層)スポーツをしていなくても健康に興味のある人は多いので、ハードルを下げたところから始めるのが良い。

スポーツは生活における優先度は低い。ショッピングモールでやる試みは人々の関心を引くには良いと思う。

次回:令和5年3月22日(予定) 第2回奈良県スポーツ人材育成勉強会

*無関心層の運動開始(子育て世代の運動参加)について意見交換予定

スポーツ人材育成の取組について

スポーツ人材育成の具体的な取組(令和5年度予定)

1. 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた競技力強化

①(新)未来のトップアスリート発掘育成事業

2031年国スポ・全スポ大会や国際大会で活躍が期待できるジュニアアスリートを発掘し、個人の能力や特性にマッチする競技種目の紹介、育成をとおして、各競技種目の底上げ、すそ野拡大を図る。

<運動能力測定イベント(対象:小学生)>

令和5年7月31日(月曜日)、8月1日(火曜日) @ジェイテクトアリーナ奈良

②(新)アスリート県内定着プログラム検討事業

2031年の国スポ・全スポ大会に向けて、特にこれまで就職で県外に流出していた選手や指導者が引き続き県内で活動できる体制を構築できるかどうか、県内情勢を調査し、次年度以降の展開を検討する。

③競技力向上対策事業

(公財)奈良県スポーツ協会を通じて、競技力向上、指導者の資質向上及び公認資格取得の支援を継続して実施する。

④パラスポーツの活性化

県障害者スポーツ協会、県障害者スポーツ指導者協議会と組織体制の整備を含め、すそ野拡大に向けた方策を協議・検討しており、令和6年度からの事業化を目指す。

2. 幼児向け運動・スポーツプログラム

●就学前における運動・スポーツを通じたはぐくみ推進事業

幼児向け運動・スポーツプログラムを活用し、総合型地域スポーツクラブ等の指導者を対象とする講習会の開催や幼児向け教室の実施をとおして、地域で子どもたちが継続的に運動遊びを経験できる環境を整備する。

3. 無関心層の運動開始(子育て世代の運動参加)プログラム

●(新)運動実施率向上推進事業

県民の運動・スポーツの習慣化を推進するため、以下2つのプログラムを実施。

(1)運動のきっかけ創出事業

ショッピングモール等にて、普段運動をしない人、興味の無い人向けに健康状態や身体能力を短時間で測定するイベントを実施し、自己を知ることによって健康維持に向けた運動の習慣化を推進する。(アシックス社のヘルスケアチェックを活用)

(2)身近な運動普及啓発事業

特に山間部など人口が少ない地域を中心に講師を派遣し、身近に実践できる運動・スポーツの楽しさを啓発し、運動習慣の定着を目指す。なお、イベントには地域の指導者等も参加し、指導者の資質向上及び指導者数自体の底上げを図る。

* 令和4年11月15日(火曜日) 上北山村にて試行実施(講師:千葉委員)